

令和2年度 学校評価について

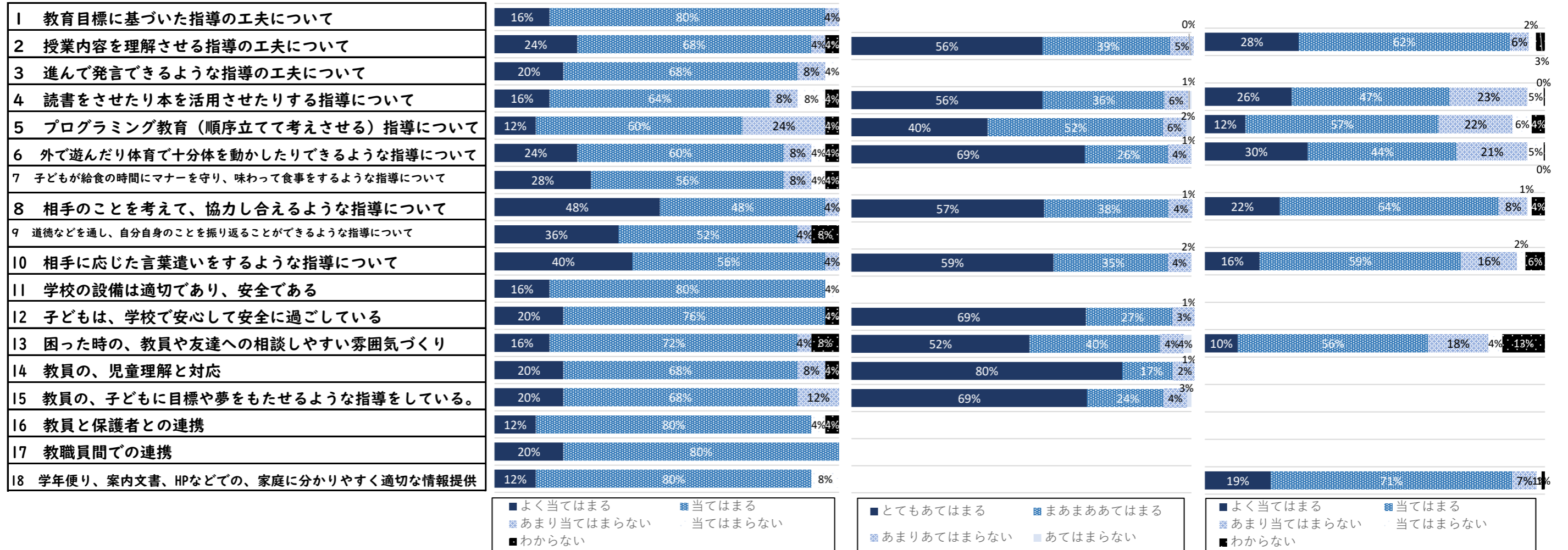
各位

狛江市立狛江第五小学校

教職員

児童

保護者



【自己評価結果】

- (成果)
- 全体
 - ・ おおむね児童の評価は高い
 - 教師
 - ・ 1 教育目標に基づいた指導を心掛けている
 - ・ 2 ICTの活用等により、児童の育成に寄与している
 - ・ 児童の相手意識を高める指導を行っている
 - 児童

(課題と考察)

- 教師 「よく当てはまる」がやや少ない。また、「分からない」も多いところがある。自身の取組や指導に自信をもたせたい
- 4 児童は読書をしているが、教師と保護者は否定的な意見がある。日頃の指導の充実と家庭への啓発活動が望まれる
 - 5 教師のP教育の指導の充実と、児童や保護者が能力の高まりを実感したり認めたりする取組が必要である
 - 6 体力向上に向けた授業改善の必要性がある
 - 8 保護者は、丁寧な言葉遣いに課題があるとしている。引き続き相手に応じた言葉遣いの指導をしていく。
 - 13 児童は相談しやすい雰囲気があるとしているが、保護者は十分には感じてはいない。保護者と教師の信頼関係を、より一層構築していく必要がある

【学校運営連絡協議会より】

- 成果
 - ・ 教員と児童との関係性がよい。
 - ・ 児童が明るく、落ち着いて熱心に学習している。
 - ・ ICT機器の活用やプログラミング教育の推進に期待している。
- 課題
 - ・ 「これからの教育」の充実に向け、教員の指導力の向上に期待する。
 - ・ 地域学校協働活動の活性化を願う。
 - ・ タブレット端末の有効な活用方法に取り組んでもらいたい。

令和3年度の本校の指針

- 児童の言語能力、情報活用能力の育成とともに、主体的に学習に取り組む児童の育成に努める。
- 他の人と協働して学習活動等に取り組み、自分の考えなどを発信する力を育成する。
- ICT機器を利用した指導方法の工夫と共に、プログラミング的思考力の育成に努める。
- 地域学校協働活動のパイロット校として、地域・保護者との協働活動を充実させていく。